



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかった〜

『秋野菜の播種時期と収穫期』

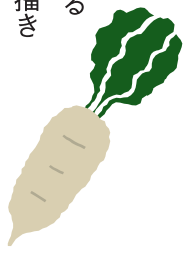
この時期は冬に向かい、毎日に寒くなっていく時期です。春野菜のように、種まき1日の差が収穫時期の大きさにズレにつながります。秋播き野菜は種まきのタイミングを間違えると、収穫出来なくなってしまうものがあるので注意が必要です。

秋播き野菜の多くは晩秋から冬に収穫時期を迎えるものが多く、生育期間が長いことから、比較的長い期間収穫することが出来ます。

今回は、代表的な作物の播種時期と収穫期について説明します。

(※播種時期と収穫期は安佐南区基準)

【ダイコン】



種まきが遅れると抽苔ちゅうたひするので、播き

遅れないよう注意します。代表的な品種は「耐病総太り」で、9月初旬から中旬に種を播くと、11月下旬から1月上旬に収穫出来ます。この品種は作りやすく、ス入りが発生しにくいので、長期間畑にそのまま置いておくことが可能です。しかし株揃いは悪く、近年この品種以外に直売所や朝市で人気がある品種が「冬自慢」や「YR味づくり」です。播種時期と収穫期は耐病総太り同様です。

【ハクサイ】



種まきの時期が由来に大きく影響する野菜のひとつです。種まきが遅れると結球しないので、播種時期になったら、確実に種まきをしてください。

代表的な品種は「無双」で、8月の終わりから9月中旬に種を播くと、11月下旬から1月下旬に収穫できます。この品種は栽培しやすく、多くの方が作られる

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					



タマネギ、ダイコンは彼岸を目安に種を播きましょう！

定番品種です。近年、この品種以外に黄色い黄芯系の品種も人気があります。播き時期と収穫期をよく確認して作ることがポイントです。

【タマネギ】



まず種を播いて苗を作り、その苗を畑に定植する移植栽培が一般的ですが、ハクサイと違って、種まきが早すぎると苗が大きく育ってしまい、春に収穫をむかえるまえには抽苔してしまうので、時期には注意して下さい。ただし、極早生や早生の品種はこの限りではありません。

代表的な品種は、「OK黄」で、種まき時期は秋のお彼岸を目安に播き、苗が出来たら11月下旬頃に定植します。小苗から植えるようにして、あまり大きすぎる苗は、前述の理由で植えないようにします。収穫期は翌年の5月下旬から6月上旬です。

営農のことに関するアドバイス

営農110番

水稲・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00～17:30

- 広島南営農事務所 ☎(082) 849-6355
- 広島北営農事務所 ☎(082) 841-4919
- 山県営農事務所 ☎(0826) 85-0020
- 本店指導販売課 ☎(082) 870-5893

※本店指導販売課では土曜日9:00～12:00まで対応

今月の農作業

【水稲】
水稲の早生品種は刈取りの時期です。刈取り適期は、バインダーの場合で1穂中の青粉率が10%、コンバインで青粉率が5%になった頃が目安となります。早刈りは青米などの登熟不良米が多くなり、刈り遅れると玄米の光沢を失ったり、胴割粒が発生しやすくなるなど品質低下を招きますので、適期刈取りに努めましょう。

9月は台風が心配な時期です。圃場周辺を見回り、被害の予防に努めましょう。